

# 令和5年度 教育事業（生活・自立支援キャンプ） 親子でふれあいデイキャンプ

## 1 事業概要

大洲市、八幡浜市の母子寡婦福祉連合の会員を対象に、国立大洲青少年交流の家を会場にしたデイキャンプを企画した。アウトドア料理やクライミング、ミュージック・ケアを通して、達成感を味わい、自主性や自己肯定感の向上を図った。野外での活動に加え、音楽を使った遊びを行うミュージック・ケアを行うことにより幅広い年齢層全員で楽しめる活動を多く取り入れた。



## 2 事業の目的（ねらい）

体験の機会が少なくなりがちな環境で生活している子供たちに、豊かな自然環境での料理教室やクライミング、ミュージック・ケア等の活動を提供することで、達成感を味わい、自主性や自己肯定感の向上を図る。また、親子のふれあいや参加者相互の交流の中で、豊かな心を育みながら仲間との協調性や相互理解を深めたりネットワークを構築したりする機会とし、更なる生活力の向上を図る。

## 3 企画のポイント

大洲市、八幡浜市の母子寡婦福祉連合と連携して準備を進めた。アイスブレイクで緊張をほぐしたり、自然の中での活動を多く取り入れたりで、参加者が気持ちにゆとりを持って参加できるようにした。自立への支援として、野外炊事やクライミングなどの少し抵抗のある体験プログラムの導入により、子供たちの困難なことに挑戦しようとする心情を育てた。アウトドア料理という非日常を楽しむ機会を設けることで、家庭生活でも楽しめる調理のヒントを提供した。また、野外活動だけではなく、ミュージック・ケアの活動を取り入れることにより、音楽に癒され、安らぎの時間を提供できた。

- |        |  |
|--------|--|
| 4 主催   | 国立大洲青少年交流の家  |
| 5 期日   | 令和5年10月29日（日）  |
| 6 場所   | 国立大洲青少年交流の家  |
| 7 対象   | 大洲市、八幡浜市母子寡婦福祉連合会の会員   |
| 8 参加人数 | 10名（保護者7名、子供3名） ※申込21名   |
| 9 講師   | 樋口 裕子 氏、国立大洲青少年交流の家職員  |
| 10 日程  | 9:30 開会式・アイスブレイク<br>10:00 アウトドア料理に挑戦しよう<br>13:15 クライミングに挑戦！<br>14:30 ミュージック・ケア～音楽で癒されよう～<br>15:30 振り返り・閉会式 |

## 11 活動内容

### （1）開会式・アイスブレイク

開会式後のアイスブレイクは、法人ボランティアの学生主体で行われた。手遊び歌、読み聞かせ、自己紹介ゲームへと展開し、緊張をほぐす工夫をしながら取り組んでいた。参加者は徐々に表情が和やかになり、いい雰囲気で次の活動へとつなげることができていた。



## (2) アウトドア料理に挑戦しよう 講師：国立大洲青少年交流の家職員

料理研究家の中村憲和氏からアウトドア料理のレシピを提供していただき、事前に職員で研修後、当日に指導を行った。今回は、「豚の塩釜」「パエリア」「カルボナーラパスタ」の3つのメニューで実施した。参加者は完成を楽しみに普段調理することのない調理方法に驚き、協力しながら調理を行っていた。

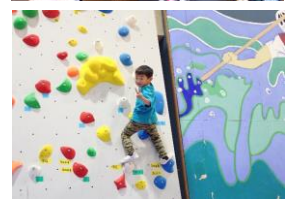
お互いにできることを活動前に自主的に相談し、高齢の参加者は座ったままできる作業を率先して行い、幼児の参加者は法人ボランティアの学生とペアになり、かまどに薪をくべたり、包丁を使って野菜を切ったりするなど助け合いながら活動を進めていく姿が見られた。

## (3) クライミングに挑戦！ 講師：国立大洲青少年交流の家職員

スタートから上部にあるゴールを目指すコースと、高さを低めに設定して横移動をする2つのコースを設定した。参加者同士で、足を置く場所の確認を行いながらゴールを目指して取り組んでいた。幼児にとっては難しいコースであったが、職員のサポートや参加者の応援もあり、安全に活動を行い、コースをクリアすることができていた。

## (4) ミュージック・ケア～音楽で癒されよう～ 講師：樋口 裕子 氏

ミュージック・ケア講師の樋口裕子氏を招き、音楽を使った遊びを提供していただいた。当初は癒しを目的としたヒーリング系の活動を想定されていたが、幼児が非常に活発なことから、体を大きく動かす活動を追加しての実施となった。参加者は、カスタネットやタンバリン、鈴、トーンチャイムなど与えられた楽器を使って、リズムに合わせて、全員で演奏をしていた。音階が決められている楽器では、決まったタイミングで鳴らさなければうまくいかないが、幼児の参加者に法人ボランティアが補助につきながら練習を行い、無事に演奏が完成した時には互いに喜び合う姿が見られた。



## 12 参加者の声

事業後アンケート結果 \*満足：100%

○調理が大変良かった。味もおいしかったし、ボランティアさんの段取りも良かった。

○ご飯のメニューにびっくりしました。こんなご飯食べたことがありません。めちゃくちゃおいしかったです。

○よい体験ができたと思います。説明が分かりやすく、楽しい体験ができたと思います。

○美味しく、楽しい事業なので、もっとたくさんの人に参加して欲しい。

## 13 事業の成果（参加者の様子を含む）

野外炊飯やクライミングなど、少し困難な活動を取り入れることにより、達成感を味わうことができていた。ミュージック・ケアでは、全員で協力しなければ完成しない演奏に取り組むことにより、成功した時の歓声から、他との協力の大切さを感じてもらえたと思う。また、母子寡婦福祉連合との早い段階からの打合せ、昨年度のアンケートを基に活動プログラムを計画できたので、全員満足の評価を得ることができた。

## 14 事業の課題

募集团体を追加することにより過去最多となる21名の参加予定であったが、募集人数に達することができず、発熱等によるキャンセルがあり10名の参加となった。子供の参加者数が少ない要因として、時期的に行事等の重なりが考えられるが、より参加しやすい事業を目指して、今後検討をしていきたい。

(担当：事業推進係員 宮島 淳)